

日本海ヘルスケアネット

今後の展望

日本海ヘルスケアネット推進室長 田中愛久

日本海ヘルスケアネットは、加盟する10組織の結びつきを強化し、それぞれの組織が活性化するために、相互の連携強化を図ってきました。最近では看護管理者部会を新たに立ち上げるなど、顔の見える協力関係の強化を進めています。そして今後の新たな取り組みも始まっています。

さらなる連携の強化に向けて 11組織に拡大

鶴岡市東原町で平成11年から開院されている「すこやかレディースクリニック」（理事長 斎藤憲康氏）が令和4年4月1日から日本海ヘルスケアネットに加入することになりました。

「すこやかレディースクリニック」は庄内地区で先駆的に人工受精、体外受精、凍結卵による体外受精、顕微受精など、ほとんどの不妊治療を行っているっております。

不妊治療は、国の医療制度でも重要視されてきており、今後、日本海総合病院との人的交流などを通じて連携強化を図ることで庄内地域での不妊治療の拡充に大きな役割を果たせるものと期待されます。



斎藤憲康先生



すこやかレディースクリニック

日本海総合病院でも 不妊治療のための 施設整備を計画

「すこやかレディースクリニック」の連携強化を図るとともに、日本海総合病院においても新たに不妊治療に取り組むために新しい施設整備を現在、計画しています。

このことにより酒田地域・庄内地域をはじめ、不妊に悩まれている多くの方々が積極的に治療を進められるものと期待されます。

